学校だより

おのみ

令和５年度２月号
志布志市立尾野見小学校

「エンジョイ・チャレンジ・アレンジ」

学校長　宗岡　克英

東京でパラリンピックが開催されたり，鹿児島で障害者スポーツ大会が開催されたりして，障害者の方々が様々なスポーツで活躍する姿を見る機会が増えてきました。先日，本校でもパラアスリートを指導者として派遣していただき，体育の授業を実施する機会がありました。当日は，

岩田朋之さんが本校の５・６年生にロービジョンフットサルを指導し，自分がロービジョンフットサルをはじめるいきさつについて話して下さいました。

岩田さんは，小さい頃からいつも外で遊んでいるスポーツ好きの少年であったそうです。東京のレストランでソムリエとして働いていましたが，26歳の時，突然レーベル病という目の難病になりました。この病気は，目のまわりの筋肉が変異し，視神経が萎縮して視界の周りがぼやけ，目が見えにくくなる病気です。医者から治療法や治療薬はありませんといわれます。「ウソでしょう。」「今の仕事はもう続けられない。」「どうやって生きて行けばいいのだろう。」と思ったそうです。日常生活も一変します。食事ができない。文字を読むことができず情報を入手できない。スムーズに人とコミュニケーションをとることができない。岩田さんはやるせない日々を過ごしていました。そんな失意のどん底にいた時にロービジョンフットサルに出会います。

ロービジョンフットサルは，弱視者一人ひとりの異なる視力・視野を生かし，お互いを補い合いながらプレーするサッカーです。アイマスクは装着せず、音の出ないボールを用います。弱視者でも見分けられるようにボールやビブスの色がはっきりとしています。

このスポーツに取り組んで気づいたことがあるそうです。「目が見えにくい状態でもルールや用具を変えればサッカーを楽しむことができる。」「ルールや用具を変え自分のマインド（気持ち）を変えればできないと思っていたことでもできる。」ということです。

岩田さんは，日常生活を変えることにしました。ご飯を食べる茶碗を真っ黒にしました。真っ白なご飯を食べやすくするためです。文字を読みづらいので文字を読み上げてくれるアプリを使うようになりました。目の見えにくさは変わらないので，周りのルールや道具そして自分のマインド（気持ち）を変えるようにしたわけです。

自分のマインドを変えた岩田選手は，その後どんどん躍進します。2015年に日本代表主将として世界選手権に初出場し，それ以降世界選手権に４回出場しました。ロービジョンフットサルをして良かったことは，視覚障害のある友達が世界中にできたことで，その方達が心の支えになっているそうです。そして今の夢は，障害を持っている人達が当たり前にスポーツを楽しめる環境をつくるということだそうです。

お話の最後に岩田さんが大切にしている三つの言葉**「エンジョイ・チャレンジ・アレンジ」**を紹介してくれました。「エンジョイ：仲間と共に楽しむ気持ちを忘れない。チャレンジ：困難な状況に向き合い挑戦する。アレンジ：どうやったらできるかを考え，できることを見つける。特に３つめのアレンジをおぼえていてほしい。」と語ってくれました。

言葉の一つ一つに，挫けない気持ちを持ち続ける大切さを感じることができました。私たちが今後生きる上で，困難に直面した時に思い出したい言葉です。

糸車・機織り体験

１月23日（火）に講師をお招きして，１年生と３年生が糸車・機織り体験をしました。１年生は国語で「たぬきの糸車」を学習しました。糸車を実際に自分の手で回すことによって作品の理解を深めることができました。

３年生は社会で昔の道具について学習しました。糸車で糸をつくったり機織りで布を作ることによって昔の道具の仕組みについて知ることができました。

講師の谷口さんは「綿は環境にやさしい繊維です。綿をつかって糸を作ったり布を作って使うことで地球にやさしくなれます。」とおっしゃっていました

１月29日の南日本新聞にこの活動が掲載され，嬉しいお手紙が届きました。

初めまして私，坂元朗と申します。教職最後の勤務校が尾野見小学校で2年間お世話になりました。定年退職の日，やっちくの秋の陣祭りで使われていたあの空砲と万歳三唱で，多くの校区の方々に見送られた光景を事あるごとに思い出しています。何もかも懐かしい学校となりました。1月29日付の南日本新聞で「育てた綿を糸に　機織りにも挑戦」の記事が目につき，わくわくしながら読むことでした。

綿は，以前イモ畑だった土地で育てたのかな，何時ごろから始めたのかななどと想像しながら･･･。子供たちにとっては，小学校時代の良き思い出としていつまでも心に残ることでしょうね。今後も素晴らしい伝統として続けてほしいものだと勝手に思いかたです。退職後何回か尾野見小を訪れたこともありましたが，今や運転免許証を返納し，自家用車も手放したので，簡単に尾野見へ足を延ばすことができず残念です。ただ当時の保護者の方々15名ほどと年賀状のやり取りをしていて，尾野見の様子も知らせていただき有り難いです。校長先生にはお元気で勤務されますようご祈念いたします。

坂元先生の心温まるお手紙から多くの方が尾野見小の子どもたちの成長を見守ってくださっていることを改めて感じました。来年度は150周年記念事業も計画しています。尾野見小の子ども達の頑張っている様子をこれからもたくさん発信していきます。

おのみンピック

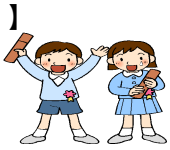
２月10日（土），おのみンピック（持久走大会）が行われました。この日に向けて，朝の時間や体育の時間に練習を積み重ねてきました。

１・２年生は800m，３・４年生は1350m，５・６年生は1750mを自分の新記録目指して一生懸命，走りました。保護者・地域の皆さんの温かい声援も　子ども達の背中を押してくれました。「練習よりもタイムが縮んだ」「自分のペースで最後まで走ることができて嬉しかった」と喜んでいる子もたくさんいました。この１年間，様々な行事を通して，心も体もたくましく成長しました。

自分の目標をもち，これからも体力作りを楽しんでほしいと思います。

【願いを込めて】

３年生の提案で石川県七尾市の東湊小学校へ千羽鶴を送りました。多くの児童・職員が復興への願いをこめて，丁寧に折りました。まだまだ生活に不安があること思いますが尾野見小の千羽鶴で少しでも心が明るくなってくれますように。

【３・４月行事予定表】

日	曜	主な行事
		【３月】
1	金	授業参観
8	金	お別れ遠足
22	金	卒業式
25	月	修了式・離任式
		【４月】
8	月	新任式・始業式・入学式
19	金	学級 PTA・PTA 総会
		家庭教育学級　PTA 専門部会
23	火	家庭訪問（下尾野見）
24	水	家庭訪問（中尾野見）
25	木	家庭訪問（上尾野見）